



2018年12月13日

社会医療法人 河北医療財団

河北健診クリニックの事案について、 特別調査委員会の設置および調査報告について

当財団は、2018年7月17日に、河北健診クリニックにおいて、健康診断・肺がん検診を受診され異常なしと判断された受診者様が、本年6月に肺がんで逝去された案件について記者会見を実施いたしました。

本年9月25日に外部有識者による特別調査委員会を設置し、原因究明と再発防止策等の検証などを行い、12月11日に特別調査委員会による調査報告書を受領いたしました。

本日、厚生労働記者会において、調査報告の記者会見を行いました。

1. 特別調査委員会の調査結果

特別調査委員会の調査結果につきましては、[「調査報告書」](#)をご覧ください。

2. 特別調査委員会の調査結果を受けた当財団の対応方針

本件の背景として、(1)当クリニックの読影体制上の原因 (2)胸部エックス線を用いた対策型肺がん検診そのものに根差す問題があるというご指摘をいただいております。

当財団におきましては、特別調査委員会からいただいた上記のご指摘やご提言を受け、今後の具体的な対応、再発防止策等につきましては引き続き検討を進めてまいります。

このたびは、河北健診クリニックにて受診いただいた皆さまをはじめ、関係各位には、ご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、あらためて深くお詫び申し上げます。医療機関としての責任を再認識し、今回の事案の対応に留まらず広く検討を行い、実行していくことで信頼回復に努めてまいります。

《本件に関するお問い合わせ》

社会医療法人 河北医療財団 広報室

TEL : 03-3339-5724 E-mail : press@kawakita.or.jp